NO.

100

社会 人生百年時代の学び直し

Learning Again in a Longer Life

長い人生でもう一度学ぶ

英文の音声

レベル ★★☆ やや難 | 290語 | 熟語13個 | 目標3分 | 読んだ日 | かかった時間 分 秒

1 For most of the twentieth century, life followed three stages: education, work, and retirement. In their 2016 book The 100-Year Life, Lynda Gratton and Andrew Scott argued that this pattern no longer fits a world in which many people may live to a hundred.

2 One reason is that skills now age quickly. Technology keeps changing the way jobs are done, and knowledge that was ❶**in demand** ten years ago may be less useful today. To ❷**keep pace with** these changes, workers may need to learn new skills several times during their careers. Someone who ❸**majored in** history at university might later study programming or nursing.

3 Going back to school in middle age is not easy, however. Many adults ❹**are nervous about** sitting in a classroom with students half their age, and some ❺**get cold feet** just before applying. Others worry that they cannot ❻**adapt themselves to** new ways of learning, such as online courses. Yet those who take the step often find that their life experience helps them understand ideas more deeply than they could when they were young.

4 Relearning does not have to mean quitting a job. Some people ❼**carry on with** their work while taking evening or weekend classes. What matters is to ❽**reflect on** what one really wants to do, and to ❾**prepare for** the next stage before it arrives. There is no need to hurry; it is fine to ❿**take your time** and explore.

5 A longer life is a gift. It gives us time to make old dreams ⓫**come true**. People who ⓬**are anxious to** try something new should not be held back by age. With patience and support from society, we can all ⓭**be confident of** one thing: it is never too late to learn.

語注 **retirement** 引退・退職 **career** 職業人生・経歴 **middle age** 中年 **explore** 探る・調べる

この英文の熟語 IDIOMS 13個｜番号は英文の中の番号と同じ。覚えたら □ に印

1 in demand 需要がある □□□
多くの人に求められている。be in great demand（大いに需要がある）。demand は名詞「需要」で、supply（供給）と対になる 例 *Nurses are in great demand in many countries.* 看護師は多くの国で大いに必要とされている。

2 keep pace with ~ ～に遅れずについていく □□□
同じ歩調（pace）を保つ。keep up with ~ と同じ。変化・技術・時代などに使う 例 *It is hard to keep pace with changes in technology.* 技術の変化に遅れずについていくのは難しい。

3 major in ~ ～を専攻する □□□
大学で専門に学ぶ。名詞 major（専攻）も使う（My major is economics.）。specialize in ~ と近い 例 *She majored in economics at university.* 彼女は大学で経済学を専攻した。

4 be nervous about ~ ～に緊張している・～を不安に思う □□□
about の後ろは名詞か動名詞。人前で話す前などの緊張。be anxious about ~ と近い 例 *I was nervous about giving a speech in English.* 英語でスピーチをすることに緊張した。

5 get cold feet 怖気づく □□□
足が冷たくなる→直前になって尻込みする。結婚式や大きな決断の前によく使う 例 *He got cold feet and didn't ask her out.* 彼は怖気づいて彼女をデートに誘わなかった。

6 adapt oneself to ~ ～に順応する □□□
新しい環境に自分を合わせる。adapt to ~ と同じ。adopt（採用する）と混同しない 例 *It took him a while to adapt himself to life in Tokyo.* 彼が東京の生活に慣れるにはしばらくかかった。

7 carry on with ~ ～を続ける □□□
中断せずに続ける。continue / go on with ~ と同じ。carry on ~ing の形もある 例 *Please carry on with your work.* どうぞ仕事を続けてください。

8 reflect on ~ ～をよく考える・振り返る □□□
reflect＝反射する→考えを自分に返す。名詞 reflection（熟考）。reflect A（A を反映する）とは意味が違う 例 *Take some time to reflect on what you have learned.* 学んだことを振り返る時間をとりなさい。

9 prepare for ~ ～の準備をする・～に備える □□□
prepare ~（～を準備する：料理・書類など）と前置詞の有無で意味が変わる。prepare for an exam は「試験に備えて勉強する」 例 *The students are preparing for the entrance exam.* 生徒たちは入試の準備をしている。

10 take one's time ゆっくりやる □□□
急がずに自分のペースで。Take your time.（ごゆっくりどうぞ）は会話の定番 例 *There's no rush, so take your time.* 急がないので、ゆっくりやってください。

11 come true （夢などが）実現する □□□
come は「（ある状態に）なる」。主語は dream / wish / prediction など。realize one's dream（夢を実現する）と書き換え可 例 *Her dream of becoming a doctor came true.* 医者になるという彼女の夢は実現した。

12 be anxious to do ～したがっている □□□
強く望んでいる。be eager to do と同じ。be anxious about ~（～を心配している）と意味が違う点が頻出 例 *He is anxious to see his family again.* 彼はまた家族に会いたがっている。

13 be confident of ~ ～を確信している □□□
自信を持って信じている。be confident that S V の形も多い。be sure of ~ / be convinced of ~ と近い 例 *The coach is confident of victory.* 監督は勝利を確信している。

内容一致問題 QUESTIONS

英文を読んで、それぞれの問いに対して最も適切なものを 1〜4 から 1 つ選びなさい。

問1 第1段落によると、グラットンとスコットが主張したことは何か。

(1) 教育・仕事・引退という三段階の人生は、多くの人が100歳まで生きる世界には合わない。
(2) 人は若いときにだけ学ぶべきである。
(3) 一つの会社で何十年も働くのが最もよい。
(4) 20世紀の人生は四つの段階に分かれていた。

問2 第3段落によると、中年になって学校に戻るときに大人が感じる不安として述べられていないものはどれか。

(1) 自分の半分の年齢の学生と一緒に座ること。
(2) 申し込む直前に怖気づいてしまうこと。
(3) オンライン講座のような新しい学び方に順応できないこと。
(4) 授業料が高すぎて払えないこと。

問3 Which of the following is true according to the fourth paragraph?

(1) People must quit their jobs before they start relearning.
(2) Some people continue working while taking evening or weekend classes.
(3) It is important to hurry and choose a new career quickly.
(4) Reflecting on one's wishes is a waste of time.

熟語チェック CHECK 意味に合う英語の熟語を書こう（答えは「熟語」のページ）

1 需要がある
2 〜に遅れずについていく
3 〜を専攻する
4 〜に緊張している・〜を不安に思う
5 怖気づく
6 〜に順応する
7 〜を続ける
8 〜をよく考える・振り返る
9 〜の準備をする・〜に備える
10 ゆっくりやる
11 （夢などが）実現する
12 〜したがっている
13 〜を確信している

背景知識 医療の進歩などで寿命が延び、「人生100年時代」と言われるようになった。グラットンとスコットは著書『LIFE SHIFT』（2016年）で、「教育 → 仕事 → 引退」という三段階の人生から、学び直しや転職を何度も繰り返す「マルチステージ」の人生へと変わると論じた。技術の変化が速いため、社会人が新しい技能を学ぶ「リスキリング」や「リカレント教育」が注目されている。入試では「年齢と学び」「生涯学習」のテーマで出題される。

全訳 TRANSLATION 色の太字は熟語の部分

1 20世紀の大部分の間、人生は教育・仕事・引退という三つの段階をたどった。2016年の著書『LIFE SHIFT（100年時代の人生戦略）』で、リンダ・グラットンとアンドリュー・スコットは、この型は多くの人が100歳まで生きるかもしれない世界にはもはや合わないと主張した。

2 理由の一つは、技能が今ではすぐに古くなることだ。技術は仕事のやり方を変え続けており、10年前に**需要があった**知識が、今日ではあまり役に立たないこともある。こうした変化**に遅れずについていく**ために、働く人は職業人生の間に何度も新しい技能を身につける必要があるかもしれない。大学で歴史**を専攻した**人が、後でプログラミングや看護を学ぶこともあるだろう。

3 しかし、中年になって学校に戻るのは簡単ではない。多くの大人は、自分の半分の年齢の学生と一緒に教室に座ること**に緊張し**、申し込む直前に**怖気づく**人もいる。オンライン講座のような新しい学び方**に順応**できないのではと心配する人もいる。しかし、その一歩を踏み出した人は、人生経験のおかげで、若い頃よりも考えを深く理解できることによく気づくのである。

4 学び直しは、仕事を辞めることを意味するとは限らない。夜間や週末の授業を受けながら仕事**を続ける**人もいる。大切なのは、自分が本当にしたいこと**をよく考え**、次の段階が来る前にそれ**に備える**ことだ。急ぐ必要はない。**ゆっくり時間をかけて**探ってよいのだ。

5 長い人生は贈り物である。それは、古い夢**を実現させる**時間を与えてくれる。何か新しいことに**挑戦したいと思っている**人は、年齢に引き止められるべきではない。忍耐と社会の支えがあれば、私たちは皆、一つのこと**を確信できる**。学ぶのに遅すぎることは決してない、ということだ。

要旨 寿命が延び技術の変化が速い時代には、教育・仕事・引退という三段階の人生は合わなくなり、何度も学び直すことが必要になる。不安はあっても、学ぶのに遅すぎることはない。

解答・解説 ANSWERS

問1 1 **問2 4** **問3 2**

問1 正解 1 根拠は第1段落の Lynda Gratton and Andrew Scott argued that this pattern no longer fits a world in which many people may live to a hundred。this pattern は直前の三段階の人生を指すので 1 が正解。2 は「若いときにだけ学ぶ」という古い三段階の型の考え方、3 も20世紀の典型的な働き方であり、二人はそれが合わなくなったと主張している。4 は three stages と書かれているので誤り。

問2 正解 4 第3段落は、are nervous about sitting in a classroom with students half their age（1）、get cold feet just before applying（2）、worry that they cannot adapt themselves to new ways of learning, such as online courses（3）を挙げている。授業料については一切触れていないので、「述べられていないもの」は 4。費用の問題はよくある話なので選びたくなるが、本文にない内容は選ばないこと。

問3 正解 2 根拠は第4段落の Some people carry on with their work while taking evening or weekend classes。carry on with を continue に言い換えた 2 が正解。1 は Relearning does not have to mean quitting a job に反する。3 は There is no need to hurry と逆。4 は What matters is to reflect on what one really wants to do（自分のしたいことをよく考えることが大切）に反する。